

## 国際磁気共鳴医学会 (The International Society for Magnetic Resonance in Medicine: ISMRM)

長田周治

### はじめに

カナダ、ケベック州のモントリオールで開催された ISMRM (学会期間: 2011年5月7日～5月13日) に参加させて頂きました。モントリオールは、セントローレンス川沿いにある、ケベック州最大の都市です。フランス語が公用語のケベック州の中でも、パリの影響を色濃く残した文化が特徴です。1976年の夏季オリンピック、自動車レースのF1グランプリ、世界中で公演を行っているサーカスのシルク・ドゥ・ソレイユの本拠地としても有名です。実際に街を歩いて得た印象は近代的な大都市でありながら、ヨーロッパの町並みを思わせる、趣のあるバランスのとれた街でした。



左はモントリオール旧市街。石畳の古い通りであり、両脇にレストランやブティックなどが並んでいます。

右は1829年に建てられたゴシック風の装飾とステンドグラスが美しいノートルダム教会。1994年にモントリオール出身の歌手セリーヌディオーンが結婚式を挙げたことでも知られています。



### 学会

ISMRM とは磁気共鳴医学における技術開発、基礎的研究から臨床応用までを網羅した、MR 医学における世界最高峰の学会です。MRI は数ある画像診断の

モダリティの 1 つに過ぎませんが、その研究分野や発表内容は非常に多岐に及んでいます。今年の演題数は 4,736 演題、参加者総数は 5,700 名でした。この学会では、土曜日と日曜日の 2 日間に **Weekend Educational Courses** があり、**MRI** の主要な各分野について専門家による教育公演が行われ、続く **Annual Meeting** では、月曜日から金曜日の午前中まで連日、習熟度別に **sunrise courses**、**clinical intensive course** といった基本 (解剖や基礎物理など) から **hot topics** まで幅広い内容を網羅したレクチャー、口頭やポスターによる研究発表が行われます。



学会会場は市の中心にあり、ホテルからも近く便利な場所にありました。会場内はとて広く快適でした (左)。

右下は私の発表したポスターです。タイトルは“**IDEAL Fat Image in Bone Marrow: Comparison of Metastatic Neoplasm and Benign Marrow Abnormalities**”です。IDEAL (Iterative decomposition of water and fat with echo asymmetry and least-squares estimation) の **fat image** が骨髄の転移性病変と良性病変の鑑別に有用か否かを検討したものです。





(毎年、ISMRM の中日には Mayo dinner と称される食事会が行われます。)

ISMRM には 2008 年から連続して 4 回目の参加となります。以前にも書いたことがあります。私がこの学会へ積極的に参加している理由は、骨軟部領域の教育講演や Hot Topics をテーマにしたセッションが充実していること、同じ専門領域の先生と知り合いになる機会であること、留学中の恩師に再会できることです。今後、MRI に興味を持った若い先生がこの学会へ参加されることを願っています。

### おわりに

今回の国際学会への参加に際し、早渕尚文教授、医局長代行を引き受けてくれた甲斐田勇人先生をはじめ医局の皆様へ深謝いたします。